

目次



目次	
開催概要	2
市長挨拶 - 発刊にあたって	4

写真編(準備・運営)

広報・啓発活動	6
ボランティア	10
学校観戦	12
都道府県手作り応援のぼり旗	14
クリーンアップ運動	16
花いっぱい運動	17
街なかや競技会場の装飾	18
学校・民間連携の取り組み	20
ふるまい	24
総合案内所	25
炬火リレー	26
延期前(令和2年度まで)の取り組み	28

写真編(かごしま国体)

総合開会式	34
行幸啓・お成り	36
水泳(競泳)	38
水泳(飛込)	40
水泳(水球)	42
水泳(アーティスティックスイミング)	44
体操(競技)	46
体操(新体操)	48
体操(トランポリン)	50
陸上競技	52
テニス	54
バレーボール	56
セーリング	58
ソフトテニス	60
卓球	62
軟式野球	64
柔道	66
ライフル射撃	68
ラグビーフットボール	70
アーチェリー	72
ボウリング	74
高等学校野球(硬式)	76
お手玉	78
フライングディスク	79
総合閉会式	80

写真編(かごしま大会)

開会式	84
陸上競技(身・知)	85
水泳(身・知)	86
アーチェリー(身)	87
卓球(身・知・精)[サウンドテーブルテニス(身)を含む]	88
フライングディスク(身・知)	89
ボウリング(知)	90
バレーボール(身・知)	91
スポーツウエルネス吹矢(身)	92
電動車椅子サッカー[パワーチェアフットボール](身)	93
ふうせんバレーボール(身・知・精)	94
閉会式	95

資料編

特別国民体育大会鹿児島市開催運営基本方針	98
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会	
鹿児島市実行委員会等組織図	99
行幸啓・お成り	100
開催準備経過概要	101
年次別運営費の推移	102
広報・啓発活動	103
広報媒体を活用した情報発信	103
広報啓発物品等一覧	104
花いっぱい運動	105
クリーンアップ運動	105
ボランティア	106
都道府県手作り応援のぼり旗	106
競技体験会	107
学校観戦	107
かごしま国体開催期間中の競技体験などのイベント事業	108
炬火リレー	109
P R・歓迎装飾	110
官学連携	112
民間連携	112
競技会場でのふるまい	113
文化プログラム	114
魅力発信イベント	115
総合案内所	115
売店	116
ドリンク	117
配付物(資料袋、識別用品)	118
宿泊	119
弁当	120
医療救護	121
消防・警備	122
輸送・交通	123
来場者数	124
都道府県別総合成績	125
競技別成績	126
かごしま国体鹿児島県選手団名簿(鹿児島市開催競技分)	140
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会	
鹿児島市実行委員会名簿	146
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会	
鹿児島市実行委員会専門委員会名簿	148
燃ゆる感動かごしま国体	
鹿児島市弁当調製施設選考委員会名簿	149
競技補助員協力校一覧	149
企業協賛実績	150
燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会	
鹿児島市実行委員会事務局名簿	151
あとがき	

開催概要

特別国民体育大会



広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的としています。

特別全国障害者スポーツ大会



障がいのある選手が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、人々が障がいに対して理解を深め、障がいのある方の社会参加の推進に寄与することを目的としています。

■愛称

燃ゆる感動 **かごしま国体**

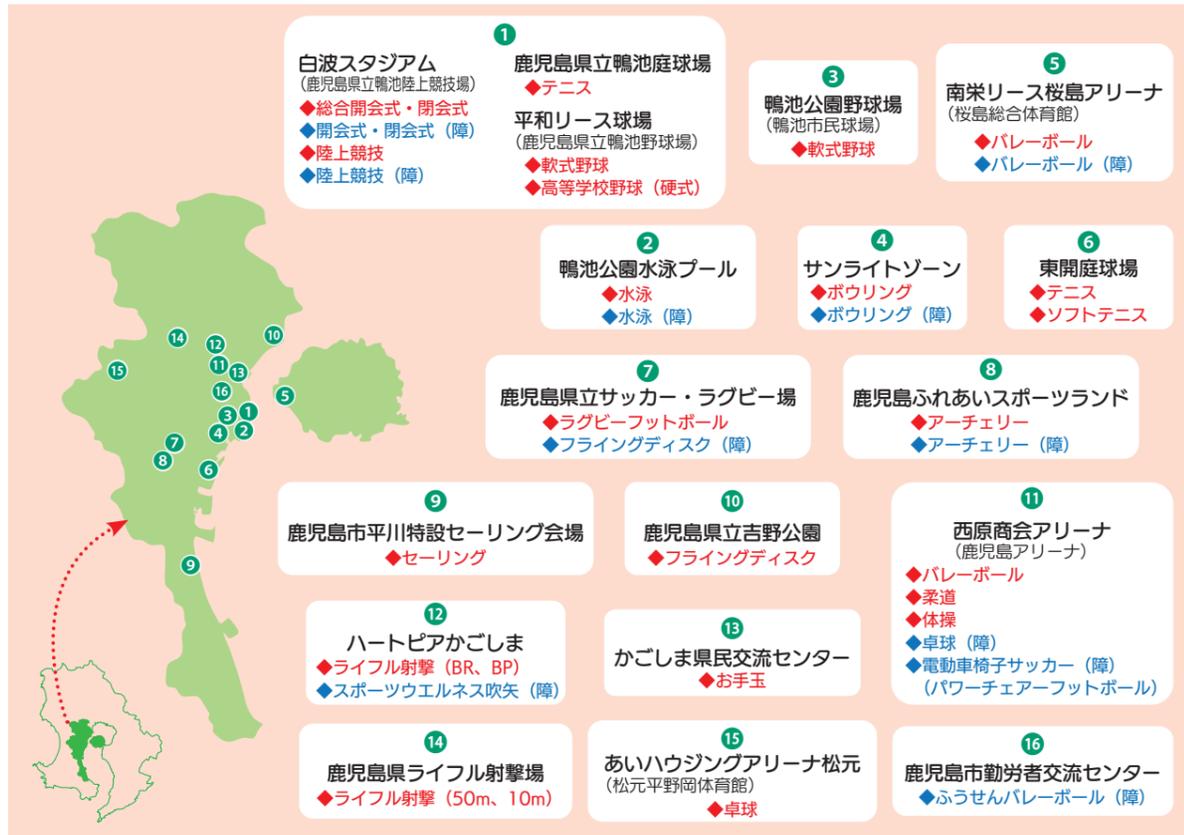
燃ゆる感動 **かごしま大会**

■スローガン

熱い鼓動 風は南から

熱戦を繰り広げるアスリート達の熱い鼓動と会場に響きわたる歓声が、鹿児島から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いが込められています。

■鹿児島市開催競技の会場



■鹿児島市開催競技一覧

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」(全17競技)

正式・特別競技

			令和5年10月										
競技名	種別	競技会場	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火
陸上競技	全種別	白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)											
テニス	成年男女	東開庭球場											
	少年男女	鹿児島県立鴨池庭球場											
バレーボール	6人制	少年男子											
		少年女子											
セーリング	全種別	鹿児島市平川特設セーリング会場											
ソフトテニス	全種別	東開庭球場											
卓球	全種別	あいハウジングアリーナ松元(松元平野岡体育館)											
軟式野球	成年男子	平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)											
		鴨池公園野球場(鴨池市民球場)											
柔道	成年男子	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)											
	少年男子 女子												
ライフル射撃	全種別	鹿児島県ライフル射撃場											
		50 m											
	10 m												
BR、BP	少年男子	ハートピアかごしま											
	少年女子												
ラグビーフットボール	成年男子	鹿児島県立サッカー・ラグビー場											
	女子												
アーチェリー	全種別	鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場											
ボウリング	全種別	サンライトゾーン											
高等学校野球(硬式)	—	平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)											

正式競技(会期前実施競技)

			令和5年9月									
競技名	種別	競技会場	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	
水泳	競泳	鴨池公園水泳プール										
	飛込											
	水球		少年男子									
			女子									
アーティスティック スイミング	少年女子											
体操	競技	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)										
	新体操											
	トランポリン											

デモンストラレーションスポーツ

競技名	競技会場	実施日
お手玉	かがしま県民交流センター	令和5年5月28日(日)
フライングディスク	鹿児島県立吉野公園	

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」(全10競技)

正式競技

		令和5年10月		
競技名	競技会場	28 土	29 日	30 月
陸上競技(身・知)	白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)			
水泳(身・知)	鴨池公園水泳プール			
アーチェリー(身)	鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場			
卓球(身・知・精) ※サウンドテーブルテニス(身)を含む	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)			
フライングディスク(身・知)	鹿児島県立サッカー・ラグビー場			
ボウリング(知)	サンライトゾーン			
バレーボール(身・知)	南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)			

オープン競技

競技名	競技会場	実施日
スポーツウエルネス吹矢(身)	ハートピアかごしま	令和5年10月22日(日)
電動車椅子サッカー(パワーチェアフットボール)(身)	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)	令和5年10月21日(土)・22日(日)
ふうせんバレーボール(身・知・精)	鹿児島市勤労者交流センター	令和5年10月29日(日)



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
鹿児島市大会報告書

写真編
〈準備・運営〉

1972年(昭和47年)以来、本県では51年ぶりの開催となった特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、本県初開催となった特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」は、市民や競技団体をはじめとする関係の皆様のご尽力と、後催県の皆様のご協力により、新型コロナウイルス感染症の影響による史上初の延期を乗り越えて開催し、盛況のうちに全日程を終えることができました。両大会に関わった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

本市におきましては、国体の17競技、大会の10競技を開催し、多くの方がスポーツのもたらす情熱や感動を体感されたことと思います。そして、選手達の素晴らしいパフォーマンスはもとより、観客の皆様の熱い声援、運営を支えた競技団体やボランティアの方々の奮闘する姿など、スポーツの「する・みる・ささえる」それぞれの魅力が詰まった、記憶に残る素晴らしい大会であったと感じております。

また、本市会場には、選手・監督をはじめ約40万人に及ぶ来訪者をお迎えし、様々な取り組みを通して、

本市の多彩な魅力を発信する絶好の機会となりました。そして何よりも「街中で応援の言葉をかけてもらった」「親身になって道案内をしてくれた」といった声が選手等から届くなど、市民の皆様一人ひとりのホスピタリティあふれるおもてなしが、鹿児島ファンの拡大につながったものと確信しております。

この報告書は、両大会の開催に向けた軌跡や、それを支えた多くの方々の活躍を未来へ伝えるため刊行するものです。ぜひ多くの方にご高覧いただき、両大会の成功を誇りに感じていただくとともに、開催により得られた多くの成果をレガシーとして共有し、今後も一丸となって彩り豊かな鹿児島市の実現に向け取り組んでいきたいと考えております。

結びに、両大会の開催に向けて、長期間にわたりご尽力を賜りました全ての皆様に改めて感謝申し上げ、発刊にあたっての挨拶といたします。



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
鹿児島市実行委員会 会長

鹿児島市長
下鶴 隆央



カウントダウンイベント「Enjoy YOUR 2023 フェスタ」

広報・啓発活動

かごしま国体・かごしま大会の開催を広く周知し、市民の皆さんとともに両大会を盛り上げるため、カウントダウンイベントの開催や出展、PR映像やポスターの作成、LINE公式アカウントなどの各種メディアを使った情報発信などを展開しました。

■ カウントダウンイベント

KOKUTAI meets YOU フェスタ(令和4年12月11日)

かごしま国体開催300日前に開催し、本市出身で元競泳選手の宮下純一さんや地元アスリート(陸上競技の鶴田玲美選手・水泳(競泳)の新開誠也選手)を招いてのトークセッション、競技体験、次回開催地の自治体によるPRブースの出展などを行いました。



宮下純一さんと地元アスリートのトークセッション



競技体験(ライフル射撃)



佐賀市によるPR

■ Enjoy YOUR 2023 フェスタ(令和5年8月26日)

炬火リレーに合わせて開催し、炬火リレーゴールセレモニーや元サッカー日本代表・サッカー解説者の前園真聖さんと国体・大会アスリートとのトークセッション、国体弁当の限定販売などを実施しました。



炬火リレーゴールセレモニー



競技体験(野球)



巨大なふわふわドームも設置

■ イベント出展等

市内を中心にイベントへのブース出展や、ノベルティグッズの提供を行いました。ブースではオリジナル缶バッジ作りや着ぐるみによる触れ合いなどにより、両大会をPRしました。



PRブース



オリジナル缶バッジ作り



着ぐるみによる触れ合い

■ PR映像 Re:RISE(令和3年9月公開)

両大会の開催2年前にあたり、松陽高等学校美術科と連携し、黒板アートを使ったPR映像を制作しました。また、生徒の制作活動にスポットを当てた、メイキング映像も追加公開しました。



開催直前期のPR映像

さらなる開催機運の醸成のため、ポスターと統一デザインのPR映像や、市民など100人の笑顔と観戦ポーズを集めた動画「100人のENJOY YOUR KOKUTAI+TAIKAI」を作成し、市内商業施設のデジタルサイネージなどで放映しました。



■ポスター・チラシ

鹿児島市のシンボルである桜島の写真を使用し、鹿児島市での両大会の開催を力強くPRするデザインのポスター・チラシを作成しました。



■SNSを使った情報発信

【LINE公式アカウント】

開催期間中の試合状況など、最新情報を発信するため、LINE公式アカウントを開設し、関連情報を1つにまとめて分かりやすく発信することで、大会関係者や一般観覧者の利便性向上を図りました。

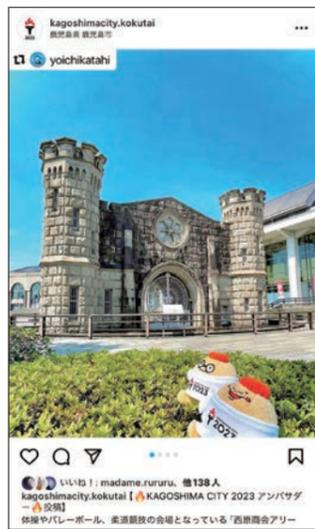


【投稿キャンペーンやアンバサダーの起用】

Instagramなどで、来訪する選手等に推す鹿児島市の風景やグルメなどの投稿キャンペーンを開催したほか、SNSでの情報発信に長けた市民を「KAGOSHIMA CITY 2023 アンバサダー」として起用し、本市の魅力発信や両大会の情報拡散に協力してもらいました。



投稿キャンペーン



アンバサダーの投稿



アンバサダーの任命式

【選手へのインタビュー企画「#アオハルインタビュー」】

両大会への出場を目指す選手へのインタビューを実施し、Instagramなどで公開。両大会にかける選手の思いや競技の見どころなどを紹介しました。



パレーボール



フライングディスク



ボウリング

■ラッピング市電の運行(令和5年3月~10月)

かごしま国体開催200日前の節目の取り組みとして、市実行委員会ロゴマークの配色をイメージしたラッピング市電を運行。車内も国体・大会一色に装飾し、本市開催競技の見どころを紹介するポスターなどを掲示しました。



ラッピング市電の出発式



市街地を走行し、両大会をPR



車内の装飾

■かごしま国体・大会振り返りイベント「BATONS from 2023」の開催(令和5年12月22日~26日)

両大会にご協力いただいた方々への感謝や、両大会の感動やレガシーをつなぐためのイベントを開催し、写真展示のほか、子どもたちへの競技用具の贈呈や、令和6年以降の国スポ(国民スポーツ大会)・障スポ(全国障害者スポーツ大会)開催地の自治体によるPRなどを行いました。



競技用具の贈呈



ゲストアスリートによるトークセッション



国スポ・障スポ開催地によるPR

■その他



市議会でのPRポロシャツ着用による広報協力



市の広報紙への記事掲載



おもてなしボランティアが会場を案内

ボランティア

多くの市民にボランティアとしてかごしま国体に参加していただき、選手や監督など大会関係者や一般観覧者を心のこもった温かいおもてなしでお迎えしました。

■ ボランティア研修会・ボランティアの集い

業務内容やおもてなしの研修を経て、国体直前の「ボランティアの集い」で心を一つにしました。



ボランティア研修会



ボランティア用のジャンパーに袖を通す皆さん



ゲストや下鶴市長からもボランティアの皆さんにエール



全員同じポーズで心を一つに

■ 広報ボランティア

カウントダウンイベントなどでのPR活動をサポートしていただきました。



イベント参加のサポート



ノベルティの配布



■ 運営ボランティア

競技会場での弁当配付や受付案内など大会運営をサポートしていただきました。



大会関係者への弁当配付



受付での資料配付



選手等にドリンクを提供

■ おもてなしボランティア

総合案内所や競技会場での案内、競技や鹿児島に関する情報発信、お困りごとのサポートをしていただきました。



総合案内所(鹿児島中央バスターミナル)



笑顔で競技会場内を巡回



ラグビーフットボール／鹿児島県立サッカー・ラグビー場

学校観戦

トップアスリートの力と技を間近で体感し、スポーツへの関心を高める機会とするため、市内の小・中学校など約17,000人の児童・生徒による競技観戦を行いました。

熱い声援やスティックバルーンによる応援は全国の選手たちに力を与え、会場を大いに盛り上げました。



子どもたちに配付したスティックバルーン



音(スティックバルーン・歓声)と色で選手を応援



陸上競技／白波スタジアム



水泳(競泳)／鴨池公園水泳プール



水泳(水球)／鴨池公園水泳プール



卓球／あいハウジングアリーナ松元



いざ競技会場(西原商会アリーナ)へ



バレーボール／西原商会アリーナ



軟式野球／平和リース球場



アーチェリー／鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場



完成した応援のぼり旗を披露する伊敷中学校の生徒

都道府県手作り応援のぼり旗

全国から訪れる選手・監督などを歓迎するため、市内の小・中学生や高校生が各都道府県への応援メッセージや各地の特産品などを描いたのぼり旗を制作し、各競技会場に掲出しました。

制作の様子



玉龍中学校・高等学校



紫原中学校



原良小学校



明和中学校



坂元中学校



伊敷中学校

競技会場での掲出風景



白波スタジアム(陸上競技)



鴨池公園水泳プール(水泳)



鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場(アーチェリー)



西原商会アリーナ(体操など)



サンライトゾーン(ボウリング)



あいハウジングアリーナ松元(卓球)



南栄リース桜島アリーナ(バレーボール)



天文館を清掃する皆さん



中洲小学校での花の受渡式

クリーンアップ運動

かごしま国体・かごしま大会の開催を前に、市民参加で市内全域の清掃を行う「クリーンシティかごしま2023」を実施。天文館やJR鹿児島中央駅に加え、競技会場周辺も清掃し、全国からの来訪者をクリーンな環境でお迎えしました。

■天文館



下鶴市長(右端)も参加してアーケードを清掃

■JR鹿児島中央駅



西口の駅前を清掃する皆さん



シャトルバス乗降所近くも入念に

■競技会場周辺



東開庭球場周辺を清掃する皆さん



花いっぱい運動

全国からの来訪者を花いっぱいの街でお迎えするため、小・中学校などにマリーゴールドやサルビアなどの推奨花の種・花苗を配付し、子どもたちが育てた花を装飾しました。



中洲小学校



西陵中学校



小山田小学校



松原小学校



本名保育園



学校での装飾



本市開催競技と特産品を組み合わせた広告

街なかや競技会場の装飾

かがしま国体・かがしま大会の開催機運を高めるとともに、全国からの来訪者を歓迎するため、天文館やJR鹿児島中央駅などの街なかや、各競技会場などに装飾を施しました。

街なか

天文館やJR鹿児島中央駅でデザインを統一しました。選手が目指すそれぞれの「頂」を、「燃ゆる感動」のキャッチコピーとリンクする炎とともに、三角形を多用して表現しています。また、同デザインを用いた夜間装飾や、障害者支援施設「しょうぶ学園」と連携したかがしま大会のPR看板も設置しました。

天文館



アーケード内の吊り看板



ずらりと並んだ吊り下げフラッグ

JR鹿児島中央駅



東口の柱巻き看板



しょうぶ学園デザインの看板と制作者で記念撮影



東口タクシープールの天井広告



開催直前には夜間装飾も実施

競技会場

のぼり旗や色とりどりの花で会場を装飾したほか、記念撮影ができるフォトスポットも用意し、来場者の皆さんを歓迎しました。



会場に並んだ歓迎のフラッグ



定期的なお手入れで、きれいな花でお出迎え



フォトスポットは選手たちに大人気



子どもたちもハイチーズ!

■競技別プログラム表紙デザインの作成
(鹿児島キャリアデザイン専門学校)

グラフィック科2Dコースの学生が、かごしま国体の本市開催競技のうち、12競技の競技別プログラムの表紙デザインを手がけ、選手の勢いや疾走感、鹿児島の観光名所などを取り入れたデザインを作成しました。



下鶴市長へデザイン完成を報告



デザインに込めた工夫や思いも説明しました

■観戦・観光ガイドブックの作成(鹿児島大学、JALふるさと応援隊)

鹿児島大学の学生や、鹿児島県出身のJALふるさと応援隊が連携してガイドブックを作成しました。ワークショップ等を重ね、地元の若者目線と、全国の観光情報に精通するJALふるさと応援隊目線で、オススメの観光スポットや飲食店をピックアップし、取材も行いました。



下鶴市長へガイドブック完成を報告



学生とJALふるさと応援隊のディスカッション



掲載店舗への取材



完成したガイドブック「かごまのトリセツ」

学校・民間連携の取り組み

かごしま国体・かごしま大会の開催を市民総ぐるみで盛り上げるため、市内の学校や企業、各種団体の皆さんと連携した取り組みを展開しました。

■弁当メニュー・弁当箱デザインの作成
(鹿児島純心女子短期大学)

かごしま国体で選手・監督等に提供する弁当のメニューや、弁当箱デザインを作成してもらいました。メニューは、生活学科食物栄養専攻の学生が弁当事業者と共同で、デザインは生活学科生活学専攻デザイン表現コースの学生が考案し、鹿児島らしい魅力の詰まった弁当が完成しました。



下鶴市長へメニューのポイントを説明



弁当事業者との意見交換会



メニューのアイデアを伝える学生



デザイン制作に取り組む学生たち

■JALアスリート社員による陸上教室
(日本航空)

子どもたちの両大会への興味を深めるとともに、スポーツへの関心を高めるため、日本航空(JAL)所属のアスリート社員を招いて、伊敷小学校で陸上教室を開催しました。



(左から)戸邊直人選手、山本凌雅選手、土井杏南選手、北口榛花選手



戸邊直人選手による走高跳の教室



土井杏南選手(左)による短距離走の教室



北口榛花選手によるジャベリックボールの実演



山本凌雅選手による走幅跳の実演

競技体験会も開催

市内の希望する小・中学校などで、トランポリンやアーチェリー、テニス、軟式野球などの競技団体による競技体験会も開催しました。



■おもてなしイベントの実施

両大会の来訪者を心のこもったおもてなしでお迎えし、本市の多彩な魅力に触れていただくため、JR鹿児島中央駅や天文館周辺の民間事業者と連携したイベントを実施しました。

かごつまふるさと屋台村との連携イベント(オリジナルメニューの開発など)



関係者の試食会を開催



屋台村全25店舗が「桜島」をテーマに開発したメニューが並ぶ



下鶴市長も味に太鼓判



スタンプラリーの景品にオリジナルジョッキも

天文館連絡協議会との連携イベント(センテラススクエアでのイベント実施など)



センテラススクエアで本格焼酎のふるまい



文化通りでのステージイベント

We Love 天文館協議会との連携イベント(天文館ベルク広場でのイベント実施など)



天文館ベルク広場での「ご飯のおともフェスタ」



天神おつきやびらも〜での「千石天神縁起市」



ふるまい

総合案内所

かごしま国体で全国から訪れる選手・監督などをおもてなしするため、地域団体や学校、地元企業の皆さんなどが競技会場で郷土料理などを提供しました。本番に向けた試作会を開催するなど、それぞれが工夫を凝らしたメニューを揃え、鹿児島島の食の魅力を発信しました。



鹿児島純心女子短期大学によるふるまい

■ 試作会の様子



平川まちづくり協議会



JA鹿児島みらい女性部



観戦や交通、観光の案内などを行う総合案内所を、本市の陸の玄関口であるJR鹿児島中央駅と鹿児島空港シャトルバスの発着所である鹿児島中央バスターミナルに設置しました。また、テニス・ソフトテニス競技の開催期間中には、東開庭球場への無料シャトルバス発着所となったJR谷山駅にも設置しました。

■ JR鹿児島中央駅



■ 鹿児島中央バスターミナル



■ JR谷山駅





たくさんの人に見守られながら出発！（10区）

きよか 炬火リレー

令和5年7月20日に採火された火は、全3コースに分かれて県内を巡回しました。薩摩コースの最後を飾る本市では、8月26日に炬火リレーを実施し、中央公園からウォーターフロント、天文館などを経由して、JR鹿児島中央駅前アミュ広場にゴールする約5km(全15区間)を、218人のランナーでつなぎました。炬火トーチや国体旗などを持ったランナーが、沿道からたくさんの声援を受けながら市内中心部を駆け抜け、同日開催のかごしま国体・大会応援イベント「Enjoy YOUR 2023 フェスタ」内で、ゴールを盛大に盛り上げました。

開会式



下鶴市長から炬火トーチを受け取る1区のランナー



出発式を盛り上げる太鼓とチアダンス

リレー

鹿児島市 炬火リレーコース



1区



2区



3区



4区



5区



6区



7区



8区



9区



10区



11区



12区



13区



14区

ゴールセレモニー



15区のランナーたちがJR鹿児島中央駅前アミュ広場に到着



たくさんの観客がお出迎え



大勢が見守る中、受皿に点火



2008年北京オリンピック銀メダリスト・朝原直治さんとの50m走(ストリート陸上 in Kagoshima)

延期前(令和2年度まで)の取り組み

燃ゆる感動かがしま国体・かがしま大会は、2023年に「特別国民体育大会」「特別全国障害者スポーツ大会」として開催されましたが、当初は、2020年にそれぞれ「第75回国民体育大会」「第20回全国障害者スポーツ大会」として開催予定でした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による延期前も、たくさんの方々のご協力をいただきながら開催準備を進めていたことから、その取り組みの一部をご紹介します。

■ カウントダウンイベント 「ストリート陸上 in Kagoshima」 (平成30年度)

天文館アーケード(天神おつきやびらもーる)に仮設トラックを設置し、ゲストアスリートに50m走で挑戦できる催しなどを開催しました。



障害者スポーツのデモンストレーション



VRを使った競技体験



アーケード内の店舗による甘酒のふるまい

■ 競技別リハーサル大会(令和元年度)

平成31年4月から翌年2月にかけて12競技・14種目でリハーサル大会を実施し、延べ約64,000人の参加がありました。



高等学校野球(硬式)(平成31年4月)



軟式野球(令和元年6月)



アーチェリー(令和元年7月)



水泳(水球)(令和元年7月)



水泳(飛込)(令和元年7月)



水泳(競泳)(令和元年7月)



ソフトテニス(令和元年7月)



テニス(令和元年7月)



セーリング(令和元年9月)



陸上競技(令和元年10月)



卓球(令和元年10月)



ライフル射撃(令和元年10月)



ボウリング(令和元年11月)



バレーボール(令和2年2月)

■かごしま国体作戦会議 with Volunteer (令和元年度)

「国体・大会の広報」と「選手等への記念品」をテーマに、ボランティアの皆さんと市職員と一緒に考えるワークショップを開催し、出されたアイデアをSNSを使った情報発信や記念品(オリジナルグラス)の決定に反映しました。オリジナルグラスは特別国体にも引き継ぎ、選手等への記念品に採用しました。



ワークショップの様子



記念品(オリジナルグラス)



ぐりぶーと一緒に記念撮影

■「筋肉」をテーマとした広報活動(令和元年度)

「筋肉」をテーマとしたPR動画の制作や、カウントダウンイベント「燃ゆる青春筋肉国体・大会フェス2020」の開催などによる広報活動を展開しました。



PR動画「燃ゆる青春筋肉国体～水泳編～」



PR動画「燃ゆる青春筋肉大会～スラローム編～」



燃ゆる青春筋肉国体・大会フェス2020



同フェスでのゲストとのじゃんけん大会

■ミニチュア作品の制作(令和2年度)



ミニチュア写真家・見立て作家の田中達也さんに、かごしま国体・大会をテーマとしたミニチュア作品を制作していただき、イベントで展示するとともに同デザインでノベルティも制作しました。



作品『たぎれ!かごしま!』



本市開催競技がミニチュアの世界に



田中達也さんを招いてのイベントも開催しました

■みんなでリメイクプロジェクト(令和2年度)

2020年開催に向けて制作した様々な物品を、市民の皆さんのご協力をいただき、リメイクして有効活用する取り組みを実施しました。



鹿児島玉龍高等学校書道部(横断幕の裏面活用)



鹿児島女子高等学校(のぼり旗をトイレトペーパーホルダーにリメイク)



鹿児島中央高等学校書道部(横断幕の裏面活用)



社会福祉法人太陽会しょうぶ学園(のぼり旗をのれんにリメイク)

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
鹿児島市大会報告書

写真編
〈かごしま国体〉



堂々と行進する鹿児島県選手団

総合開会式

令和5年10月7日(土)、燃ゆる感動かごしま国体の総合開会式が天皇皇后両陛下御臨席のもと、白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)で開催されました。コロナ禍からの再生と飛躍を象徴するような大歓声の中、全国47都道府県の選手団約3,000人が入場行進を行いました。鹿児島県は旗手のラグビーフットボールの桑水流裕策選手を先頭に入場し、選手を代表して同県の下原卓朗選手(ウエイトリフティング)と大山藍選手(陸上競技)が力強く宣誓しました。

オープニングプログラムには、鹿児島にゆかりのある著名人が駆け付け、式典前演技では約1,600人が鹿児島島の魅力を歌や踊りで表現するなど、11日間の熱戦の開幕に花を添えました。



天皇皇后両陛下の御臨席



ブルーインパルスによる祝賀飛行



旗手の桑水流裕策選手を先頭に入場



一堂に会した全国の選手団



塩田知事の開会宣言



県内各地を巡った炬火の点火



下原卓朗選手と大山藍選手による宣誓



式典前演技には、鹿児島市内からも多くの学校や団体が出演しました



燃ゆる感動かごしま国体総合開会式に御臨席された天皇皇后両陛下(令和5年10月7日・白波スタジアム)

行幸啓・お成り

天皇皇后両陛下の燃ゆる感動かごしま国体総合開会式への御臨席や、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の燃ゆる感動かごしま大会開会式への御臨席をはじめ、皇室の方々が本市を御訪問され、市内で開催された式典や競技を御覧になったほか、市内施設も御視察されました。



総合開会式での天皇陛下のおことば(令和5年10月7日・白波スタジアム)



選手と御懇談される天皇皇后両陛下(令和5年10月7日・城山ホテル鹿児島)



鴨池港フェリーターミナルで市民に手を振ってお応えになる天皇皇后両陛下(令和5年10月8日)



お召船で御出発される天皇皇后両陛下(令和5年10月8日)



燃ゆる感動かごしま大会開会式に御臨席された秋篠宮皇嗣同妃両殿下(令和5年10月28日)



鹿児島県選手団激励会に御臨席された秋篠宮皇嗣同妃両殿下(令和5年10月27日・城山ホテル鹿児島)



鹿児島県立鹿児島南特別支援学校を御視察された佳子内親王殿下(令和5年10月17日)



燃ゆる感動かごしま大会閉会式に御臨席された高円宮妃殿下(令和5年10月30日・白波スタジアム)



燃ゆる感動かごしま国体の柔道競技を御覧になる寛仁親王妃信子殿下(令和5年10月15日・西原商会アリーナ)



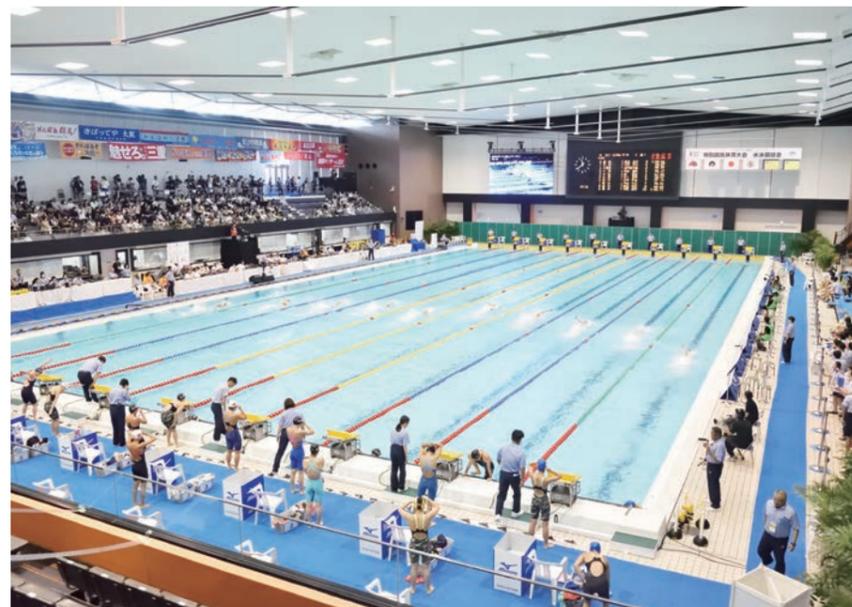
成年男子100m背泳ぎで準優勝の加藤理選手

水泳(競泳)

会期 9月22~24日
会場 鴨池公園水泳プール

競技結果(男女総合成績) 1位：東京都、2位：神奈川県、3位：大阪府(11位：鹿児島県)
競技結果(種目別(競泳)成績) 1位：東京都、2位：神奈川県、3位：大阪府(13位：鹿児島県ほか)

競泳は、会期前実施競技として9月22日から24日までの3日間、鴨池公園水泳プールで開催されました。鹿児島県勢は、個人種目で加藤理選手が成年男子100m背泳ぎで準優勝、今井美祈選手が成年女子100m自由形で4位入賞を果たしたほか、榎田大己選手が成年男子100m平泳ぎで、古林穂菜選手が成年女子100m背泳ぎで5位入賞、新開誠也選手が成年男子100m自由形で6位入賞となりました。リレー種目でも成年女子4×100mメドレーリレーで4位入賞、成年男子4×100mメドレーリレーで6位入賞の活躍で、会場を大いに沸かせました。



会場の鴨池公園水泳プール



かごしま茶を使ったお菓子のふるまい



ボランティアが心を込めて花の手入れ



成年男子4×100mメドレーリレー6位入賞の選手たち



成年男子100m平泳ぎ5位入賞の榎田大己選手



成年男子100m自由形6位入賞の新開誠也選手



成年女子100m自由形4位入賞の今井美祈選手



成年女子100m背泳ぎ5位入賞の古林穂菜選手



成年女子4×100mメドレーリレー4位入賞の選手たち



少年男子B100m平泳ぎの菊永拓海選手



少年男子A400m個人メドレーの鮫島漣征選手



少年男子A4×200mフリーリレーの面小野泰志選手



少年女子A200m平泳ぎの皆迫晶選手



少年女子A50m自由形の川村妃奈乃選手



少年女子B200m個人メドレーの有村友希選手



選手に声援を送る各地の応援団



成年男子高飛込6位入賞の坂之上卓選手の演技

水泳(飛込)

会期 9月18~20日
会場 鴨池公園水泳プール

競技結果(種目別(飛込)成績) 1位：茨城県、2位：高知県、3位：石川県(20位：鹿児島県ほか)

飛込は、会期前実施競技として9月18日から20日までの3日間、鴨池公園水泳プールで開催されました。鹿児島県勢は、成年男子高飛込で坂之上卓選手が6位入賞、成年女子飛板飛込で島雄智佳子選手が7位入賞を果たしました。また、少年男子の高飛込・飛板飛込では、池島鳴海選手が9位と、鹿児島県勢としては過去5年間で最高の成績を取めました。



会場の鴨池公園水泳プール



郷土菓子のふるまい



モニター観覧席も用意

成年男子



笑顔と美技で会場を沸かせた坂之上卓選手

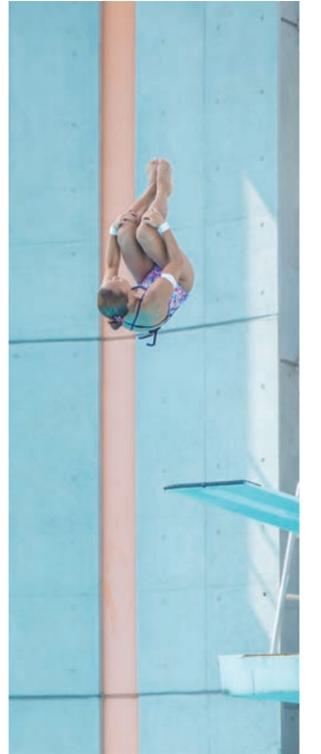
少年男子



池島鳴海選手の演技



成年女子



飛板飛込7位入賞の島雄智佳子選手の演技



演技に見入る子どもたち



監督兼務の坂之上卓選手からアドバイスを受ける島雄智佳子選手



表彰式での記念撮影



全試合で攻守に活躍した女子チームキャプテンの有馬優美選手

水泳(水球)

会期 9月17~20日
会場 鴨池公園水泳プール

競技結果(種目別(水球)成績) 1位：京都府、2位：神奈川県、3位：千葉県・三重県(5位：鹿児島県)

水球は、会期前実施競技として9月17日から20日までの4日間、鴨池公園水泳プールで開催されました。鹿児島県勢は、女子が予選リーグを勝ち抜き、準決勝で京都府に19-20で惜しくも敗れましたが、3位入賞を果たしました。少年男子は健闘及ばず初戦敗退となり、入賞を逃しました。



会場の鴨池公園水泳プール



声援で会場を盛り上げる子どもたち



試合を見守る競技役員



表彰式をサポートする競技補助員

女子



3位入賞の女子チームのメンバー



渋谷紗代選手のループシュート(3位決定戦・新潟戦)



チーム全員での堅守(3位決定戦・新潟戦)



スタンドの声援に応える女子チーム

少年男子



力強くシュートを放つ樫山智己選手



ゴールに立ちはだかる米玉利竜司選手



健闘を見せた少年男子チームのメンバー



ゴール前の味方にパスを出す玉城弘誉選手



優勝した京都府代表の息の合った演技

水泳(アーティスティックスイミング)

会期 9月16日
会場 鴨池公園水泳プール

競技結果(種目別(アーティスティックスイミング)成績) 1位：京都府、2位：埼玉県、3位：静岡県

アーティスティックスイミングは、会期前実施競技として9月16日に鴨池公園水泳プールで、少年女子・デュエットが行われ、テクニカルルーティンとフリールーティンの合計得点を競いました。鹿児島県勢の出場はありませんでしたが、華やかで力強い演技が繰り広げられ、テクニカルルーティン、フリールーティンともに1位を獲得した京都府が優勝を飾りました。



会場の鴨池公園水泳プール



案内所ではボランティアが笑顔で対応



屋外に並んだキッチンカー



会場を彩った各都道府県の横断幕



優勝の京都府(田部井柚子・金光碧音ペア)



準優勝の埼玉県(竹井枝里菜・高橋咲ペア)



3位入賞の静岡県(高澤希輝・畑中愛梨ペア)



静岡県代表の演技



兵庫県代表の演技



演技を採点する競技役員



愛知県代表の演技



客席からの歓声に手を振って応える成年男子チーム

体操(競技)

会期 9月21~24日
会場 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)

競技結果(男女総合成績) 1位:大阪府、2位:愛知県、3位:東京都(4位:鹿児島県)
競技結果(種目別(競技)成績) 1位:大阪府、2位:愛知県、3位:鹿児島県

体操(競技)は、会期前実施競技として9月21日から24日までの4日間、西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)で開催されました。鹿児島県勢は、少年女子が惜しくも予選突破とはならなかったものの、少年男子が5位、成年女子が6位入賞を果たしました。また、成年男子は出場選手5人全員が安定した演技を見せ優勝し、初の栄冠に輝きました。この結果、新体操、トランポリンを合わせた体操として、鹿児島県勢は総合4位の成績を取めました。



会場の西原商会アリーナ



人だかりができた会場周辺の売店



ドリンクコーナーも大盛況

成年男子



杉野正亮選手の鉄棒



金田希一選手の平行棒



藤巻俊平選手の跳馬



フィニッシュが決まって喜ぶ選手たち

成年女子



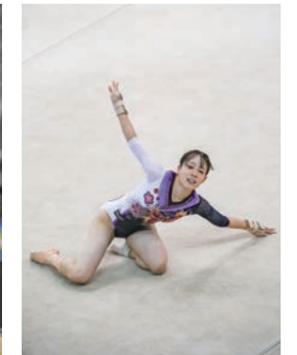
会場の声援に手を振る選手たち



北野咲希選手の跳馬



今吉希和選手の平均台

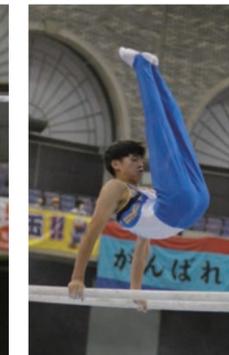


石山莉穂選手のゆか

少年男子



伊原空翔選手の鉄棒



川畑瞬選手の平行棒



山崎海音選手のあん馬



演技を終えて記念撮影

少年女子



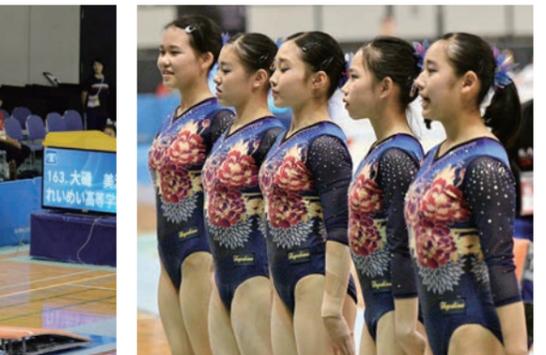
上山結愛選手の平均台



井手結月選手のゆか



大磯美海選手の跳馬



演技を終え整列する選手たち



観客が見守る中、鹿児島県チームの美しい演技

体操(新体操)

会期 9月16・17日
会場 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)

競技結果(種目別(新体操)順位) 1位：兵庫県、2位：東京都、3位：大阪府(7位：鹿児島県)

新体操は、会期前実施競技として9月16・17日の2日間、西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)で開催されました。各地区のブロック大会を勝ち抜いた28都道府県が参加し、初日の個人競技、2日目の団体競技の合計得点で順位を競いました。鹿児島県勢は、個人競技で11位と入賞圏内に届きませんでしたが、団体競技では、中学生と高校生の選抜チームが息の合った華麗な演技を繰り広げ、見事総合7位入賞を果たしました。



会場の西原商会アリーナ



7位入賞で笑顔を見せる鹿児島県チーム



息の合った演技を見せる選手たち



拍手に応える選手たち



熱気と歓声に包まれた会場



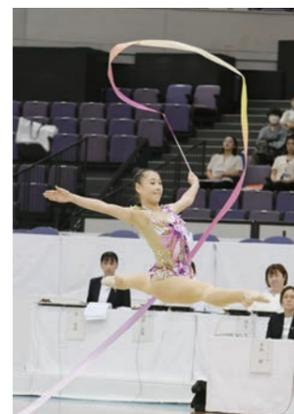
黒木花選手の個人競技(フープ)



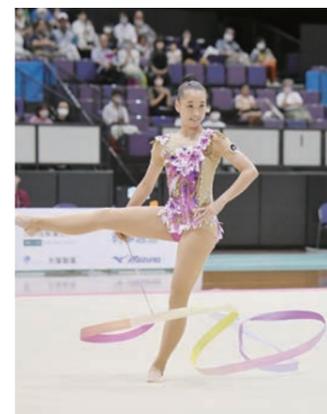
重原仁菜選手の個人競技(ボール)



深水涼羽選手の個人競技(クラブ)



弓削きらら選手の個人競技(リボン)



鹿児島・佐賀エールプロジェクトで男子の試合も開催

かごしま国体の延期開催により出場機会を失った選手たちの活躍の場として、会期前実施競技終了後の9月25日に「2023全国ブロック代表新体操男子団体選手権大会」を開催し、鹿児島実業高等学校や佐賀県、全国9ブロックの代表チームが出場しました。





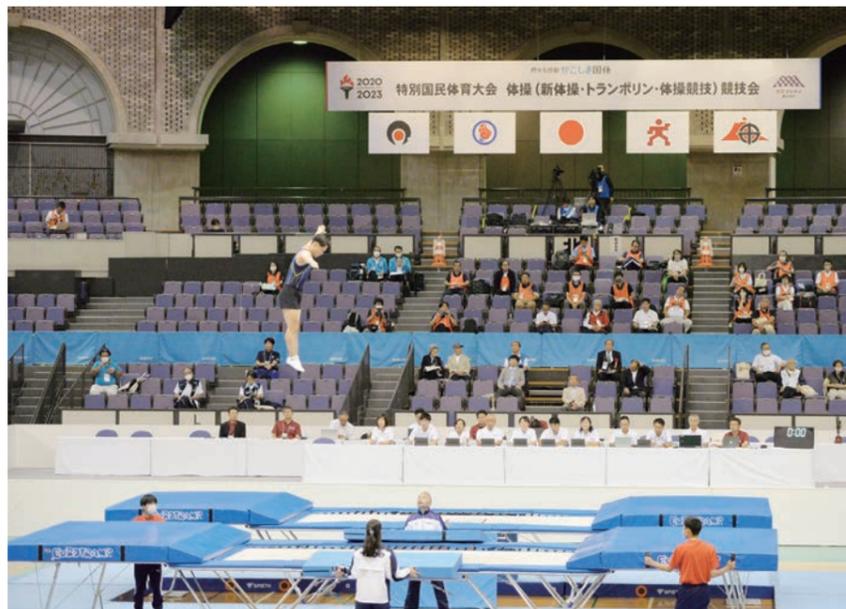
鹿児島県代表の中村晋也選手(左)と東彩乃選手

体操(トランポリン)

会期 9月18日
会場 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)

競技結果(種目別(トランポリン)成績) 1位:石川県・三重県、3位:静岡県・大阪府(12位:鹿児島県ほか)

トランポリンは、会期前実施競技として9月18日に西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)で開催されました。男女それぞれ18都道府県の選手が参加し、予選の得点上位12選手が決勝に進みました。鹿児島県勢は、女子の東彩乃選手が決勝進出を果たしましたが、惜しくも9位と入賞には一步届きませんでした。男子の中村晋也選手は、予選突破はなりませんでしたが、地元の大きな声援を受け、昨年のとちぎ国体の順位を上回る15位と健闘しました。



会場の西原商会アリーナ



鹿児島銘菓のふるまい



表彰式の準備を進める競技役員



中村晋也選手と東彩乃選手による選手宣誓



男子選手の入場



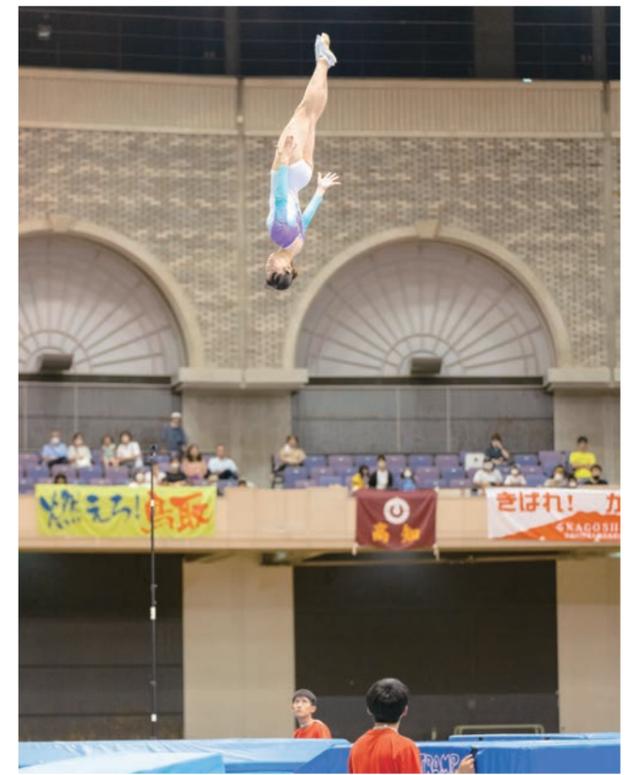
整列する女子選手

男子



中村晋也選手の演技

女子



東彩乃選手の演技



中村晋也選手の演技



東彩乃選手の演技



少年男子共通800mを大会新で優勝した立迫大徳選手

陸上競技

会期 10月13～17日
会場 白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)

競技結果(男女総合成績) 1位：福岡県、2位：京都府、3位：大阪府(8位：鹿児島県)

陸上競技は、10月13日から17日までの5日間、白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)で開催されました。鹿児島県勢は、少年男子共通800mに出場した立迫大徳選手が大会新で優勝を飾りました。また、少年女子A3000mではジェプチルチル・ブレンダ選手、成年女子100mでは鶴田玲美選手、少年男子B100mでは安田夢雄生選手、成年女子走高跳では鐵丸美由紀選手がそれぞれ2位入賞を果たすなど、各選手が健闘しました。



スタンドを赤く染めた観戦の子どもたち



運営をサポートする競技補助員の皆さん



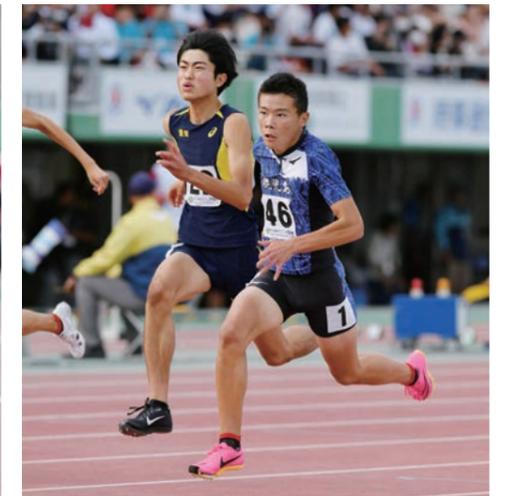
会場の白波スタジアム



少年女子A3000m準優勝のジェプチルチル・ブレンダ選手(手前)



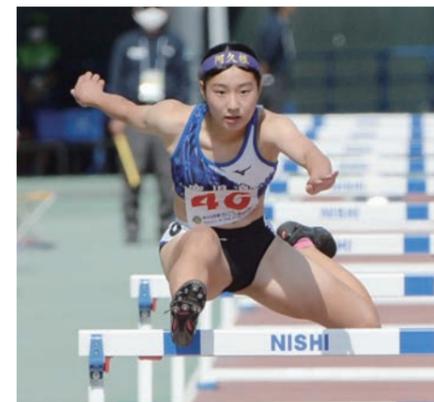
成年女子100m準優勝の鶴田玲美選手(右)



少年男子B100m準優勝の安田夢雄生選手(手前)



成年女子走高跳準優勝の鐵丸美由紀選手



少年女子B100mハードル3位入賞の楠田ゆうな選手



少年男子A5000m3位入賞の飯田翔大選手(中央)



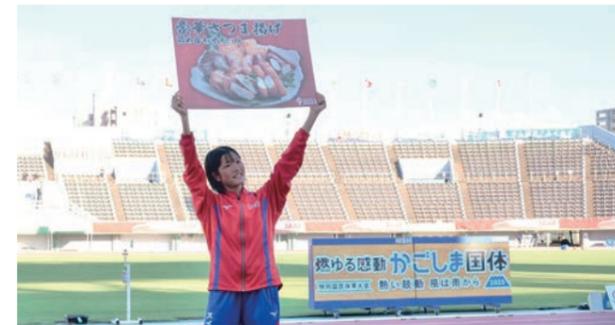
成年女子5000m競歩4位入賞の大山藍選手



成年男子10000m競歩4位入賞の向井大賀選手



成年少年女子共通400mリレー4位入賞の鹿児島チーム



日本新の選手に「豪華さつま揚げ詰め合わせセット」を贈呈



表彰台で“KAGOSHIMA”ポーズ(少年女子共通三段跳入賞者)



成年女子の清水映里選手



成年女子の松田美咲選手

テニス

会期 10月8～11日 ※8日は雨天中止
会場 東開庭球場(成年男女)／鹿児島県立鴨池庭球場(少年男女)

競技結果(男女総合成績) 1位：鹿児島県・東京都、3位：千葉県・神奈川県・三重県

テニスは、10月8日から11日まで東開庭球場(成年男女)、鹿児島県立鴨池庭球場(少年男女)の2会場で開催予定でしたが、雨天で8日の試合は順延となり、3日間でのタイトな試合スケジュールとなりました。鹿児島県勢は成年女子が東京都との決勝を制して優勝、成年男子も準優勝を飾り、少年男子と少年女子は初戦敗退だったものの、男女総合優勝、女子総合3位という素晴らしい成績を取めました。



東開庭球場



応援側にも熱が入ります



鹿児島県立鴨池庭球場



フォトパネルで記念撮影する競技補助員

成年男子



齋藤恵佑選手



山崎純平選手



準優勝の齋藤恵佑・山崎純平ペア



表彰式で成年女子と一緒に記念撮影

成年女子



優勝した清水映里・松田美咲ペア



拍手に包まれた会場

少年男子



石橋侑依選手



井上温仁選手

少年女子



隈元ここ(右)・岡村凜那ペア



猛攻を見せる3位入賞の鹿児島県少年男子チーム

バレーボール

会期 10月8～11日
会場 少年男子／南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)
 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)
 少年女子／西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)

競技結果(男女総合成績) 1位：鹿児島県、2位：東京都、3位：岡山県

バレーボールは、10月8日から11日までの4日間、県内4会場で開催されました。本市では西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)と南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)で少年男女の熱戦が繰り広げられ、鹿児島県勢は、少年男子が優勝した山口県に準決勝で敗れたものの、3位決定戦で愛知県にストレート勝ちを収め、3位入賞を果たしました。少年女子は健闘を見せたものの、惜しくも初戦で敗退となりました。



西原商会アリーナ



西原商会アリーナの会場内



南栄リース桜島アリーナ



南栄リース桜島アリーナの観客席から

少年男子



闘志みなぎる鹿児島県チーム



地元の声援を背に活躍した選手たち



ネット際の激しい攻防

少年女子



好プレーに笑顔の鹿児島県チーム



プレーに沸き立つ応援席



監督を囲んでのミーティング



2人で懸命のブロック



成年女子セーリングスピリッツ級で優勝した元津志緒・此上友唯ペア

セーリング

会期 10月8～11日
会場 鹿児島市平川特設セーリング会場

競技結果(男女総合成績) 1位：山口県、2位：茨城県、3位：神奈川県(7位：鹿児島県)

セーリングは、10月8日から11日までの4日間、鹿児島市平川特設セーリング会場で開催されました。鹿児島県勢は、成年女子セーリングスピリッツ級で元津志緒選手と此上友唯選手のペアが初優勝を飾るとともに、成年女子ILCA6級で原田小夜子選手が準優勝、成年男子470級で今村公彦選手と北修紋選手のペアが7位入賞を果たしました。



鹿児島市平川特設セーリング会場



モニターでレースを中継



桜島をバックにレースを繰り広げる参加艇



好成績を喜ぶ鹿児島県の選手たち

成年



成年女子ILCA6級で準優勝した原田小夜子選手



成年男子470級7位入賞の今村公彦・北修紋ペア



成年男子ILCA7級出場の岩城海都選手



成年男子国体ウインドサーフィン級出場の廣津秀治選手



成年女子国体ウインドサーフィン級出場の松浦絵里選手

少年



少年男子420級出場の竹中源希・西郷永進ペア



少年男子ILCA6級出場の松浦颯良選手



6位入賞の少年男子チームと関係者

ソフトテニス

会期 10月13~16日
会場 東開庭球場

競技結果(男女総合成績) 1位: 広島県、2位: 兵庫県、3位: 千葉県(13位: 鹿児島県)

ソフトテニスは、10月13日から16日までの4日間、東開庭球場で開催されました。鹿児島県勢は、少年女子は1回戦、成年女子は2回戦で敗退。少年男子、成年男子は準々決勝まで進出しましたが、ともに敗退し、5位~8位順位決定戦に進みました。少年男子は5位6位決定戦で北海道に1-2で敗れて6位入賞、成年男子は7位8位決定戦で宮崎県に0-2で敗れ、8位入賞となりました。



会場の東開庭球場



さつま揚げのふるまいに興味津々の選手たち



満員の観客席

少年男子



北海道チームと熱戦を繰り広げる草地凌牙(左)・葛蒲谷宙ペア



5・6位決定戦で好プレーを見せる今村恒志(左)・長野瑛寿ペア



準々決勝で奮闘する白井大希選手

少年女子



息の合ったプレーで第1ダブルスを制した別府真恋(奥)・荒田姫来ペア



力強いスマッシュを放つ鬼塚遼加選手



粘り強いプレーを繰り広げる柿山莉子(奥)・荒谷胡桃ペア

成年男子



7・8位決定戦で健闘した栗山健志選手



準々決勝に挑む柳田賢太郎(奥)・神川浩大ペア



7・8位決定戦で奮闘する白井一静(左)・内村太陽ペア

成年女子



大声援を受けて試合に臨む黒木夏穂(右)・元村華楠ペア



息の合ったプレーの末吉りえ(左)・齊藤ひなのペア



気迫のこもったプレーの加奈乃佳選手

特別国民体育大会 卓球競技会



優勝に輝いた成年男子チーム

卓球

会期 10月12～16日
会場 あいハウジングアリーナ松元(松元平野岡体育館)

競技結果(男女総合成績) 1位:東京都・石川県、3位:佐賀県(4位:鹿児島県ほか)

卓球は、10月12日から16日までの5日間、あいハウジングアリーナ松元(松元平野岡体育館)で開催されました。鹿児島県勢は、成年男子が準決勝、決勝ともに最終ゲームまでもつれる接戦となりましたが、会場の大応援を受けて激闘を制し、初の優勝に輝きました。少年男子と少年女子はそれぞれ健闘しましたが、グループリーグで敗戦。成年女子は優勝した岐阜県に敗れましたが、グループリーグで奮闘し5位入賞を果たしました。



会場のあいハウジングアリーナ松元



鹿児島県チームの優勝に沸く会場



ふるまいのおもてなし

成年男子



町飛鳥選手



森園政崇選手



村松雄斗選手

成年女子



森さくら選手



森園美咲選手



加藤美優選手

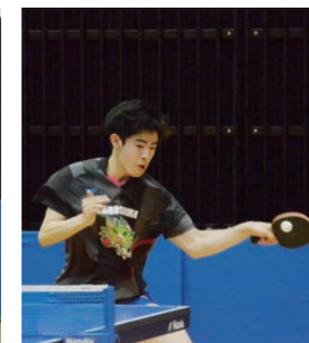
少年男子



永井翔晴選手



愛村優太選手



霧田怜羽選手

少年女子



矢野莉子選手



花岡ならめ選手



鳥越千央選手



声援を受けながらプレーする鹿児島県チーム(1回戦 石川戦・日置市)

軟式野球

会期 10月13～16日

会場 平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場) / 鴨池公園野球場(鴨池市民球場)

競技結果 1位：愛知県、2位：岐阜県、3位：静岡県(9位：鹿児島県ほか)

軟式野球は、10月13日から16日までの4日間、県内4市6会場で開催されました。鹿児島市では平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)と鴨池公園野球場(鴨池市民球場)で熱戦が繰り広げられ、決勝は愛知県と岐阜県が対戦し、愛知県が接戦の末4-2で勝利しました。鹿児島県は、日置市で行われた1回戦で石川県に3-14で敗れました。



平和リース球場



ボランティアがドリンクを提供



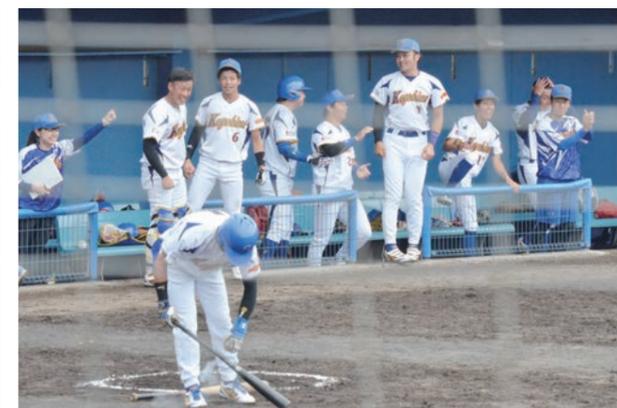
鴨池公園野球場



グラウンドを整備する競技役員と競技補助員



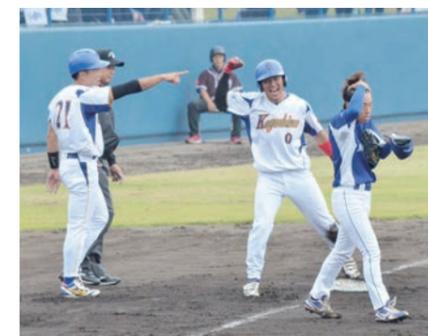
試合前の挨拶(1回戦 石川戦・日置市)



味方の好プレーに沸く鹿児島ベンチ(1回戦 石川戦・日置市)



城須皇哉選手のバッティング(1回戦 石川戦・日置市)



三塁上でガッツポーズする宮下賢選手(1回戦 石川戦・日置市)



先発を務めた中原彰仁選手(1回戦 石川戦・日置市)



選手の好プレーに熱い声援を送る子どもたち



愛知県チームの表彰



平和リース球場の初戦 東京一兵庫戦



優勝の愛知県チーム



始球式には下鶴市長が登板



決勝で一本勝ちを収めた成年男子の内村秀資選手(右)

柔道

会期 10月14~16日
会場 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)

競技結果(男女総合成績) 1位：東京都、2位：鹿児島県・滋賀県

柔道は、10月14日から16日までの3日間、西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)で開催されました。鹿児島県勢は、少年男子が初戦で敗退、女子が今大会3位となった東京都に準々決勝で惜しくも敗れましたが、5位入賞を果たしました。成年男子は2回戦から登場し、奈良県、神奈川県、静岡県を破って決勝に進出、決勝では、昨年4位の茨城県と最後まで白熱した試合を見せ、1-1の内容勝ちで初の栄冠に輝きました。



会場の西原商会アリーナ



大勢が見守る中、試合に臨む鹿児島県代表



地元業者のパンのふるまい

成年男子



果敢に攻める豎山将選手(右)



相手の腕を取る吉野弘人選手(下)



積極的に仕掛ける上林山勇斗選手(右)



決勝も盤石な試合運びを見せた上林山裕馬選手(右)



見事初優勝を飾った成年男子チーム

女子



5位入賞の女子チーム



合わせ技一本を決める前田千島選手(下)

少年男子



整列する少年男子チーム



激しく組み合う小山田鳳太選手(左)



豪快な投げ技で攻める吉川巧真選手(左)



成年女子50mライフル三姿勢で準優勝の新里葉津紀選手

ライフル射撃

会期 10月8～11日
会場 鹿児島県ライフル射撃場／ハートピアかごしま

競技結果(男女総合成績) 1位：滋賀県、2位：大分県、3位：埼玉県(11位：鹿児島県)

ライフル射撃は10月8日から11日までの4日間、県内3会場で開催されました。本市では鹿児島県ライフル射撃場とハートピアかごしまで行われ、鹿児島県勢は、成年女子50mライフル三姿勢の新里葉津紀選手が準優勝、成年男子50mライフル伏射(60発)の池田眞也選手が7位、少年女子チーム・ピストル(60発)の山元和選手が3位、MIX少年チーム・ライフルで河野優羽・松元奏羽ペアが4位入賞を果たすなど、各選手の健闘が光りました。



鹿児島県ライフル射撃場



フォトスポットで記念撮影



ハートピアかごしま



郷土菓子のふるまい



成年男子50mライフル伏射(60発)で7位入賞の池田眞也選手



成年男子10mエア・ピストル(60発)出場の轟木陸選手



成年女子10mエア・ライフル伏射(60発)出場の小牧紗華選手



成年男子10mエア・ライフル立射(60発)出場の吉川和宏選手



成年男子50mライフル三姿勢出場の清川佑介選手



成年女子10mエア・ピストル(60発)出場の中村杏華選手



少年男子チーム・ピストル(60発)出場の竹下純平選手



少年女子チーム・ピストル(60発)3位入賞の山元和選手



MIX少年チーム・ライフルで松元奏羽選手とともに4位入賞の河野優羽選手



少年女子チーム・ライフル立射(60発)で5位入賞の松元奏羽選手



準優勝に笑顔の成年男子チーム

ラグビーフットボール

会期 10月9～12日
会場 鹿児島県立サッカー・ラグビー場

競技結果(男女総合成績) 1位：福岡県、2位：三重県、3位：神奈川県(7位：鹿児島県)

ラグビーフットボールは、成年男子が10月9・10日の2日間、女子が11・12日の2日間、鹿児島県立サッカー・ラグビー場で開催されました。鹿児島県勢は、成年男子が決勝戦へ進んで三重県と対戦し、延長戦の末12-17で惜しくも敗れましたが、過去最高の成績に並ぶ準優勝に輝きました。女子は予選プール敗退となりましたが、徳島県に28-5で勝利するなど健闘しました。



会場の鹿児島県立サッカー・ラグビー場



好プレーに沸くスタンド



成年男子チームの表彰

成年男子



得点に子どもたちも大歓声



甲斐凌亮選手のダイビングトライ



鮮やかに相手のタックルをかかわす野脇隆平選手



スクラムを組んで押し合う鹿児島・東京チーム

女子



激しい攻防を繰り広げる鬼塚歩選手



キックでの打開を試みる青木蘭選手



相手に食らいつく垂門奈々選手(手前右)



試合後、観客にお礼の挨拶



狙いを定めて矢を射る小野純一郎選手

アーチェリー

会期 10月14～16日
会場 鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場

競技結果(男女総合成績) 1位：広島県、2位：愛知県、3位：福岡県(15位：鹿児島県ほか)

アーチェリーは、10月14日から16日までの3日間、鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場で開催されました。鹿児島県勢は、団体戦で成年男子が6位入賞、少年女子は決勝トーナメントに進出し1回戦で千葉県に敗れましたが9位と健闘、成年女子と少年男子は予選での敗退となりました。個人戦では、古谷溪汰選手(成年男子)が4位入賞、長谷川廉選手(成年男子)と大田楓子選手(少年女子)が7位入賞を果たしました。



会場の鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場



多くの人で賑わう売店コーナー



設営に励む競技役員・補助員



ふくれ菓子のふるまいにニコリ

成年男子



個人4位入賞の古谷溪汰選手(中央)



個人7位入賞の長谷川廉選手



グータッチで好プレーを喜び合う選手たち

成年女子



団体予選に挑んだ選手たち



並んで的を狙う選手たち

少年男子



3人そろってガッツポーズ



個人7位入賞の大田楓子選手



リラックスした表情で撮影に応じてくれた選手たち



うちわを手に応援する子どもたち



試合を終えての記念撮影



成年女子団体(2人チーム)8位入賞の片野坂あゆみ(左)・彩ペア

ボウリング

会期 10月8～12日
会場 サンライトゾーン

競技結果(男女総合成績) 1位：神奈川県、2位：群馬県、3位：大阪府(33位：鹿児島県)

ボウリングは10月8日から12日までの5日間、サンライトゾーンで全種別の競技が開催されました。鹿児島県勢は、成年女子団体戦(2人)で、片野坂あゆみ選手と片野坂彩選手の姉妹ペアが、息の合ったチームワークで得点を積み重ね、見事8位入賞を果たしました。そのほかの選手も地元の応援を受けながら健闘しましたが、惜しくも決勝進出とはなりませんでした。



会場のサンライトゾーン



競技補助員の高校生



プレーを見守る関係者



無料ドリンクでおもてなし

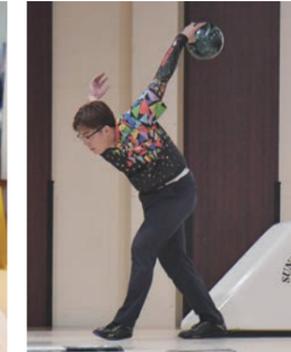
成年男子



日置秀一選手



東福貴浩選手



久富木広選手



野村経博選手

成年女子



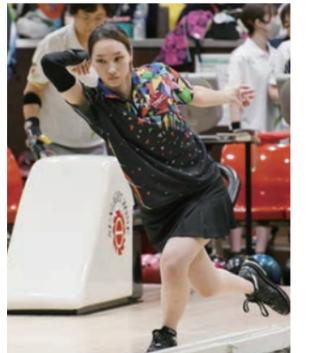
片野坂あゆみ選手(右)



片野坂彩選手



宮里直美選手



斎藤こ夏選手



ナイスプレーにはじける笑顔(成年女子団体戦)

少年女子



宮下璃子選手



山迫魅来選手

少年男子



津田和大輝選手



山迫柁斗選手



ホームランを放つ活躍を見せた正林輝大選手(神村学園)

高等学校野球(硬式)

会期 10月8・9、11日 ※8日は雨天中止
会場 平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)

競技結果 1位：仙台育英(宮城県)・土浦日大(茨城県)、3位：北海(北海道)・履正社(大阪府)
(神村学園(鹿児島県)は1回戦敗退)

高等学校野球(硬式)は、10月9日から11日までの3日間(8日は雨天中止)、平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)で熱戦が繰り広げられました。夏の甲子園決勝と同じ対戦カードとなった仙台育英(宮城県)と慶応(神奈川県)との一戦は、多くの高校野球ファンが詰め掛け、仙台育英が甲子園の雪辱を果たし、大いに盛り上がりました。雨天順延などの影響で決勝戦が行われなかったことから、仙台育英と土浦日大(茨城県)が両校優勝となり、鹿児島県代表の神村学園は、吹奏楽部や地元ファンの熱い応援の中、1回戦で北海(北海道)と対戦しましたが、惜しくも1-4で敗れました。



会場の平和リース球場



強豪校の対戦を観戦しようと長蛇の列



着々と試合の準備を進める競技役員や競技補助員



試合に臨む神村学園



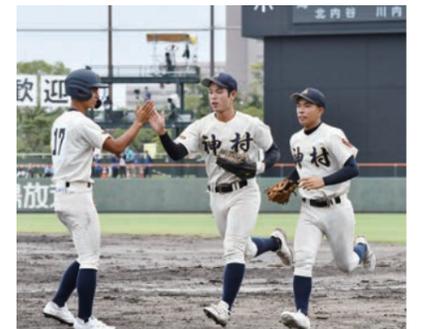
たくさんの観覧者で埋まったスタンド



粘りの投球を見せる松永優斗選手(神村学園)



ピンチを迎え、マウンドに集まる神村学園



ピンチを乗り越え、タッチを交わす神村学園



ホームインで笑顔のハイタッチを見せる北海(準決勝 仙台育英戦)



猛攻でリードを広げる履正社(1回戦 花巻東(岩手県)戦)



夏の甲子園決勝で話題を呼んだ仙台育英と慶応が再び対戦



勝利で喜びを爆発させる仙台育英



幅広い世代が参加しての熱戦



ディスクゴルフ(左)とアルティメット

お手玉

会期 5月28日
会場 かがしま県民交流センター

デモンストレーションスポーツのお手玉は、5月28日にかがしま県民交流センターで開催されました。かがしま国体では、両手3個ゆりとジャグリング、片手2個ゆり、両手2個ゆりの4種目を行い、共通ルールとして、お手玉を頭より高く投げ、どれだけ長く続けられるかを競いました。子どもから高齢の方まで総勢121人の参加があり、世代を超えた熱く、笑顔あふれる数々の試合が繰り広げられました。



開会式ですらりと並んだ選手たち



団体競技の試合



和やかな雰囲気会場



子どもたちによる演舞



閉会式

フライングディスク

会期 5月28日
会場 鹿児島県立吉野公園

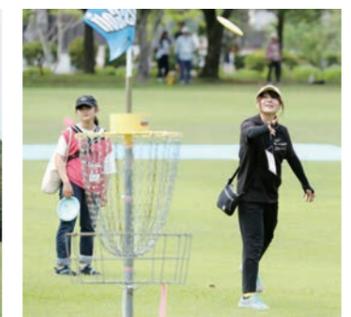
デモンストレーションスポーツのフライングディスクは、5月28日にアルティメットとディスクゴルフの2種目が鹿児島県立吉野公園で開催され、総勢162人の参加がありました。アルティメットは5人制で実施し、サッカーの1/4ほどの広さのコートの中で、相手のエンドゾーンを目指してスピーディーな攻防が繰り広げられました。ディスクゴルフは個人戦とダブルスを実施し、選手は自然豊かな公認コースの中、スローの技術や状況判断などを武器に9ホールスコアを競いました。



スピード感あふれるプレー(アルティメット)



桜島も試合の行方を見守る(アルティメット)



ゴールを狙って一投(ディスクゴルフ)



木の枝を避けディスクを投げる選手(ディスクゴルフ)



アルティメット・ディスクゴルフの選手で記念撮影



鹿児島県選手団の入場

総合閉会式

令和5年10月17日(火)、燃ゆる感動かごしま国体の総合閉会式が佳子内親王殿下御臨席のもと、白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)で開催されました。約5,800人の観覧者が拍手で選手団を出迎え、熱戦を見守り続けた炬火は、かごしま大会へと引き継がれました。

かごしま国体には、選手や一般観覧者など総勢約61万人が参加。男女総合成績(天皇杯)と女子総合成績(皇后杯)はともに東京都が1位となり、鹿児島県はいずれも2位でした。令和6年から国民体育大会は「国民スポーツ大会」に改称されることから、国体としての開催は今大会が最後となり、その約80年の歴史に幕を下ろしました。



スタンドから選手たちへ大きな声援



佳子内親王殿下の御臨席



オープニングプログラムでのダンスパフォーマンス



オープニングプログラムでの障害者スポーツ「スラローム」の実演



新たな門出を祝うように噴煙を上げる桜島



鹿児島から佐賀へ——かごしま国体と双子の大会「SAGA2024」を掲げる両県の選手たち



国民スポーツ大会旗が佐賀県へ



かごしま大会への炬火の引き継ぎ



鹿児島県選手団と観覧者でお見送り



佳子内親王殿下から東京都選手団代表への天皇杯の授与



男女総合成績2位の鹿児島県の表彰



解団式後の記念撮影

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
鹿児島市大会報告書

写真編
〈かごしま大会〉



堂々と入場行進する鹿児島県選手団



2種目を大会新で優勝した山口乃愛選手

開会式

陸上競技 (身・知)

会期 10月28～30日
会場 白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)

令和5年10月28日(土)、燃ゆる感動かごしま大会の開会式が、秋篠宮皇嗣妃両殿下御臨席のもと白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)で開催され、鹿児島県では初開催となる全国障害者スポーツ大会が開幕しました。

選手を代表して鹿児島県代表の久木留清選手と山口乃愛選手(ともに陸上競技)が宣誓。約1,200人による歓迎演技も行われ、会場は大きな拍手に包まれました。



炬火が再び点火



鹿児島県代表による宣誓



歓迎演技のフィナーレ

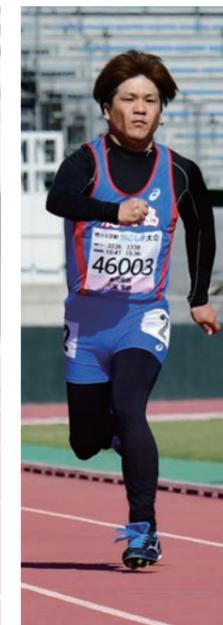


秋篠宮皇嗣妃両殿下の御臨席

陸上競技は、10月28日から30日までの3日間、白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)で開催されました。鹿児島県勢は、開会式で選手宣誓を務めた山口乃愛選手が、100mと走幅跳の2種目をいずれも大会新で優勝し、井手口勝博選手も50mと走幅跳の2種目で優勝(うち走幅跳は大会新)するなど、各選手の活躍が光り、計39個の金メダルを獲得しました。



走幅跳を大会新で、50mでも優勝した井手口勝博選手



50mを大会新で優勝した元栄孝典選手



立幅跳を大会新で優勝した三雲明美選手



立幅跳を大会新で優勝した有馬佳苗選手



選手を支える伴走者



2種目を大会新で優勝した山崎泰裕選手



リカーブ50m・30mラウンドで優勝した上村寿子選手

水泳 (身・知)

会期 10月28～30日
会場 鴨池公園水泳プール

水泳は、10月28日から30日までの3日間、鴨池公園水泳プールで開催されました。鹿児島県勢は地元の大声援を受けて素晴らしい泳ぎを見せ、山崎泰裕選手が25mバタフライと50m自由形の2種目をいずれも大会新で優勝しました。また、小野奏人選手も25m自由形と50m自由形の2種目で優勝(うち50m自由形は大会新)するなど、計14個の金メダルを獲得しました。



50m自由形を大会新で優勝しガッツポーズする小野奏人選手



25m背泳ぎなどで優勝した鷗狩剛選手



スタンドから声援を送る観覧者



50m自由形などで優勝した満千恵選手



50m背泳ぎなどで優勝した芝崎楽選手



ゴールを知らせてサポートする介助者

アーチェリー (身)

会期 10月29日
会場 鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場

アーチェリーは、10月29日に鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場で開催されました。鹿児島県勢では、上村寿子選手がリカーブ50m・30mラウンドで優勝し、リカーブ30mダブルラウンドでは満武久選手と竹下明希選手が準優勝、永田道雄選手が3位と、リカーブ出場の全選手が入賞となり、その活躍が光りました。



リカーブ30mダブルラウンド準優勝の満武久選手



リカーブ30mダブルラウンド準優勝の竹下明希選手(左)



リカーブ30mダブルラウンド3位入賞の永田道雄選手(左)



並んで的を狙う選手たち



下鶴市長が選手を激励



ラリーを繰り広げる一般卓球で優勝した鈴木公崇選手



アキュラシー・ディスタンスの2種目で優勝の中馬大介選手

卓球 (身・知・精)

[サウンドテーブルテニス(身)を含む]

会期 10月28・29日
会場 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)

フライングディスク(身・知)

会期 10月28~30日
会場 鹿児島県立サッカー・ラグビー場

卓球は、10月28・29日の2日間、西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)で開催されました。鹿児島県勢では、開会式で炬火走者を務めた鈴木公崇選手ら7人が一般卓球で優勝。サウンドテーブルテニスでも3人が優勝を飾るなど、計10個の金メダルを獲得しました。

フライングディスクは、10月28日から30日までの3日間、鹿児島県立サッカー・ラグビー場で開催されました。中馬大介選手が初出場ながらアキュラシー・ディスタンスの2種目で優勝するなど、鹿児島県勢は計10個の金メダルを獲得し、会場を沸かせました。



一般卓球で優勝の坂口のり子選手



一般卓球で優勝の川江将文選手



田中正信選手の宣誓



サウンドテーブルテニスで優勝の外園健次選手



サウンドテーブルテニスで優勝の外園徳子選手



熱戦を見守る観覧者



女子ディスタンス(座位)で優勝の江夏さくら選手



アキュラシー・ディスリート7で優勝の福原颯太選手



選手宣誓役を務め、男子ディスタンス(座位)で優勝の堂園靖選手(右)



開始式を締めくくるディスク投げ



観客と桜島に見守られながらプレーする選手たち



壮年男子で準優勝の湯之上聡選手

ボウリング (知)

会期 10月28・29日
会場 サンライトゾーン



優勝した知的女子チーム

バレーボール(身・知)

会期 10月28・29日
会場 南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)

ボウリングは、10月28・29日の2日間、サンライトゾーンで開催されました。鹿児島県勢は、湯之上聡選手が惜しくも1点差での準優勝となりました。また、松木大夏選手、林田隆利選手、園田彩乃選手も準優勝し、金メダル獲得とはなりませんでしたが、地元開催の晴れ舞台で各選手が躍動しました。

バレーボールは、10月28・29日の2日間、県内2会場で開催され、鹿児島市では南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)で、身体と知的の障害区分の熱戦が繰り広げられました。鹿児島県勢は、知的女子チームが決勝で東京都に2-0で快勝し、見事優勝に輝いたほか、知的男子と聴覚女子が3位入賞、聴覚男子も4位に入るなど、会場に駆け付けた多くの観客を前に快進撃を見せました。



少女女子で準優勝の園田彩乃選手



少年男子で準優勝の松木大夏選手(中央)



青年男子で準優勝の林田隆利選手



試合の行方を見守る関係者



鹿児島県代表による選手宣誓



3位入賞の知的男子チームの記念撮影



3位入賞の聴覚女子チームの記念撮影



健闘を見せた4位入賞の聴覚男子チーム



決勝戦で猛攻を見せる知的女子チーム



観客席からの声援に応える知的男子チーム



相手チームと挨拶を交わす聴覚女子チーム



真剣な表情で的を狙う選手たち



準優勝を喜ぶ鹿児島県チームと関係者

スポーツウエルネス吹矢(身)

会期 10月22日
会場 ハートピアかごしま

電動車椅子サッカー(身) [パワーチェアフットボール]

会期 10月21・22日
会場 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)

オープン競技のスポーツウエルネス吹矢は、10月22日にハートピアかごしまで開催され、県内外から33人の参加がありました。選手たちは呼吸を整え、段級位に応じて離れた的を狙い、息を吹いて矢を放ちました。試合中の会場は緊張感に包まれたものの、競技の合間には選手同士が談笑するなど和やかな雰囲気となり、スポーツを通じた交流を楽しむ皆さんの姿が見られました。

オープン競技の電動車椅子サッカー(パワーチェアフットボール)は、10月21・22日の2日間、西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)で開催されました。県内外から5チームが参加し、フットガードを付けた電動車椅子を駆使して繰り広げられる激しい競り合いに、会場からは大きな歓声が上がりました。鹿児島県勢は決勝で神奈川県に敗れたものの、準優勝を飾り、地元を舞台に見事な活躍を見せました。



開会式での選手宣誓



サポートを受けながら点数の確認



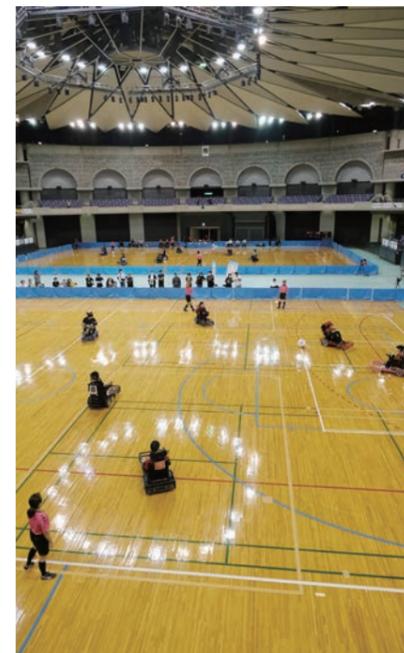
手話通訳ボランティアの皆さん



表彰式



表彰式後の記念撮影



西原商会アリーナを舞台に繰り広げられた熱い戦い



鹿児島県代表による宣誓



パスをつないでゴールを目指す



ボールを巡る攻防



試合を見守る選手たち



ボールの行方を見守る選手たち



C&Kによるファイナルステージで盛り上がる会場

ふうせんバレーボール(身・知・精)

会期 10月29日
会場 鹿児島市勤労者交流センター

閉会式

オープン競技のふうせんバレーボールは、10月29日に鹿児島市勤労者交流センターで開催され、県内外から21チームが参加しました。鈴の入った専用の風船をボールとして使用し、障害のある人とな人で混成されたチーム6人全員がボールに触れてから相手コートに返球するルールで、選手たちは互いに助け合いながらボールをつなぎ、白熱した試合を繰り広げました。

令和5年10月30日(月)、燃ゆる感動かごしま大会の閉会式が、高円宮妃殿下御臨席のもと白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)で開催されました。大会旗が次回開催地の佐賀県に引き継がれるとともに、かごしま国体・かごしま大会を見守ってきた炬火が納火され、かごしま大会の3日間の熱戦に幕を下ろしました。

かごしま大会には全14競技に延べ約7,900人の選手が参加。鹿児島県勢は金75、銀72、銅49の計196個のメダルを獲得しました。



たくさんのチームが参加



みんなで助け合ってボールをつなぐ



ボランティアが会場へ誘導



息の合ったプレーを見せる選手たち



高円宮妃殿下の御臨席



大会旗が塩田知事から次回開催地の佐賀県・山口知事へ



下鶴市長の閉会宣言



オープニングプログラムでのotto&orabuの演奏



大勢の観覧者と鹿児島県選手団でお見送り